

Challenge News



Contents

新年あいさつ	P2
権利擁護の取り組み	P3
運営ポリシー	
「GO TO THE NEXT 進化しよう!」	
さまざまな支援のかたち	P4~P10
めいとくフェスタお礼	P11

新年のごあいさつ

チャレンジめいとくの里 施設長 平川貞俊

皆様、新年あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

さて、新年をお迎えするために今年もチャレンジめいとくの里の正門には、立派な門松が立っています。

門松の由来を調べてみると、“門松は一年の実りと幸せをもたらすために山から降りてこられた年神様をお迎えするための目印”だと言われています。そのため、門松は五穀豊穡の意味合いもあると言われています。



チャレンジめいとくの里でも就労継続支援B型事業所で作業グループの一つ、「ファーム」グループがジャガイモ、タマネギ、お米などの農作物の栽培を行っています。昨年は、天候にも恵まれ「めいとく米」（品種はヒノヒカリ）が豊作で、美味しいお米がたくさん収穫できました。今年の門松も例年のように就労継続支援B型事業所の利用スタッフ（ご利用者様）の方々に作業活動として昨年末作製していただいたものです。おかげで、今年も良い年を迎えることができました。年神様のおかげで今年も豊作間違いなしでしょうか。

ところで、2018年（平成30年）、戌年の新年が明け、一年の大きな節目を迎え、職員一同、気持ちを新たにしているところです。

今年度、明德会のスローガンとして「GO TO THE NEXT」を掲げ、職員が一丸となってご利用者様の更なるQOLの向上（生活の質・人生の質の向上）を高めるために新たな取組、新たなチャレンジに取り組んでいます。これらの取組を評価し、ご利用者様及びご家族の皆様からのご意見やご要望に真摯に耳を傾け、さらに、「次のステージ」を目指して取り組みたいと考えております。

さらに、平成30年は、総合支援法の3年後の見直しによる新たな施策や障害福祉サービス等報酬改定なども行われます。私たちは、今後の障害福祉サービスの新たな展開を見据えつつ、地域の皆様方や関係機関の皆様と連携し、よりよい福祉の里づくりを目指してまいります。

今年も皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



“ 権利擁護のこれまでの取り組み ”

私達、明徳会の職員は、各事業所をご利用いただいているご利用者様に対して、ご利用者様一人ひとりの人としての尊厳が守られ、豊かな人生を自己実現できるように支援することが、私たちの責務だと改めて認識しています。

そのため、ご利用者様の「生命の尊厳」、「個人の尊厳」、「社会参加」、「専門的な支援」などの倫理観は言うまでもなく、お一人おひとりの「権利の擁護」は支援の基本に置くべき大切な倫理観だと認識し、様々な取組を行っています。

ここでは、明徳会でこれまで取り組んで来た、また、今年度新たに取り組んでいる「権利擁護」の取組について、その一端をご紹介しますと思います。

01 研修の取組

平成28年度は2回の権利擁護研修会を開催しました。

第1回は外部講師による「アサーションについて講話とグループワーク」、第2回を「権利擁護についてのグループワーク」を行っています。平成29年度はこれまでの2回の研修に加え、さらに、2回の権利擁護強化月間を設け、合わせて4回の研修会を開催する予定です。

02 権利擁護スローガン唱和

1年間、各月の権利擁護スローガンを設定し、事業所ごとの職員朝礼で唱和しています。ちなみに、1月の権利擁護スローガンは「私たちは、プライバシーの保護に配慮します。」を掲げています。



03 虐待防止マニュアルの整備

マニュアルには、「障がい者虐待防止マニュアル」、「虐待の疑いが生じた場合の対処の流れ」「身体拘束防止マニュアル」、「身体拘束に関する同意書」などを整えています。

04 行動規範の読み合わせ

事業所ごとの職員朝礼で、明徳会職員業務ガイドブックに掲載している行動規範を1項目ずつ、日直から指名された職員が読上げた後、その項目についての自分の意見を述べるようにしています。



05 虐待防止家族オンブズマン

入所及び通所の家族会代表に年度2回出席していただき、虐待防止委員会を開催しています。協議の前には活動中のご利用者様と直接会話していただき、活動や生活の様子などを聞き取っていただいています。

06 アンケートの実施

職員自身の振り返りのアンケートに加え、ご利用者様やご家族を対象にした虐待に関するアンケートを年度2回実施しています。職員に直接伝えるにくい内容を記入していただき、ご利用者様やご家族の意見を集約することに努めています。

その他、全国社会福祉協議会監修の「障害者虐待防止の手引き」にあるチェックリストの活用、ご家族からの意見や要望などを職員に伝えるための「ご意見箱」の活用、新聞やテレビ等で報道された虐待事例などの新聞記事等の紹介、苦情解決第三者委員から意見や助言などをいただき支援に活かすための苦情解決第三者委員会の開催、同性介助ができるよう職員の適正配置や支援計画書に男性職員や女性職員の色分けによる明確化など、様々な取組を行っています。

今年度運営ポリシー

「GO TO THE NEXT!!」

一人ひとりの将来を考えた支援に取り組んでいます☆

支援のかたち 01

わかばグループ Bさん



いつも笑顔で元気いっぱい
頑張ってます

..... P.05へ

支援のかたち 02

きらりグループ Sさん



毎日教材をがんばってます♪
笑顔いっぱいです☆

..... P.06へ

支援のかたち 03

オレンジハウス Oさん



いつも笑顔で元気いっぱい、
その場を明るくしてくれます!

..... P.07へ

支援のかたち 04

そよかぜグループ Aさん



笑顔がとても素敵で、
ほっこりします。

..... P.08へ

支援のかたち 05

就労移行支援 Kさん



いろんなことに気付いて、
気配りが素敵なお方です!

..... P.09へ

支援のかたち 06

就労継続支援B型 Tさん

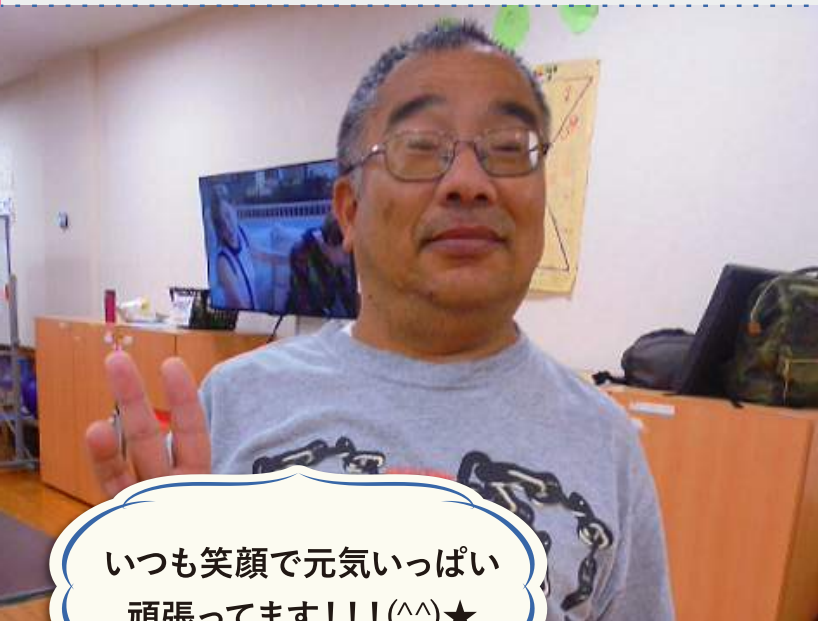


どんな仕事にも笑顔で
取り組みます!

..... P.10へ



社会福祉法人 明徳会
SOCIAL WELFARE COMPANY
MEITOKUKAI



わかばグループ Bさん ●

Bさんのご紹介

現在、わかばグループの方々と一緒にウォーキングや創作など毎日楽しく活動されています！

特技：カラオケ (^○^)♪♪

いつも笑顔で元気いっぱい
頑張ってます!!!(^.^)★

取り組み内容

Bさんは、休日買い物や様々なイベントに行かれるなど行動的な方です。めいとくの里には、雨の日も風の日もグループホームから歩いて通所されています。その為、地域での生活を通して地域住民の方々と接する機会も多くあります。そこで日常生活に必要な身だしなみに着目しました。Bさんをご自身で洋服を買いに行くことを得意とされているのでその強みを生かし、より素敵なジェントルマンになれるように、支援計画では日々自分磨きを頑張っていってまいります!!

わかばグループでの日中活動時には、眼鏡拭きに取り組まれています。昨年9月に購入したばかりの愛用中の眼鏡を長く大切に使用できるように丁寧に磨かれています。



取り組んだ後・・・ これからの目標

最近、時間になると「眼鏡を拭かなくちゃね!」と自ら取り組まれる様子がみられるようになり、とても嬉しく思っています。取り組み後は、眼鏡が綺麗になったことを満面の笑みで話して下さる姿を見ていると、眼鏡に愛着を持たれていることがよく伝わってきます。

身だしなみの面でも、毎日違う服装を見ることが増え、今まで見たことの無い服を着て通所された際には「いいですね!!似合っていますよ!!」とグループの皆さんから話しかけられ、他のご利用者様との交流を楽しまれています。

今後も自分磨きを行いながら、好きな場所や地域イベントに参加し続けることで、Bさんらしい地域生活を充実して過ごすことが目標です! Bさんがめいとくでも地域でもより輝ける存在になれるよう、これからも支援させていただきます!!!



● きらりグループ Sさん

Sさんのご紹介

Sさんは自閉的傾向の方で、広告やチラシ、新聞、求人誌等にある文字やロゴ、イラストを眺めて過ごすことが好きな方です。

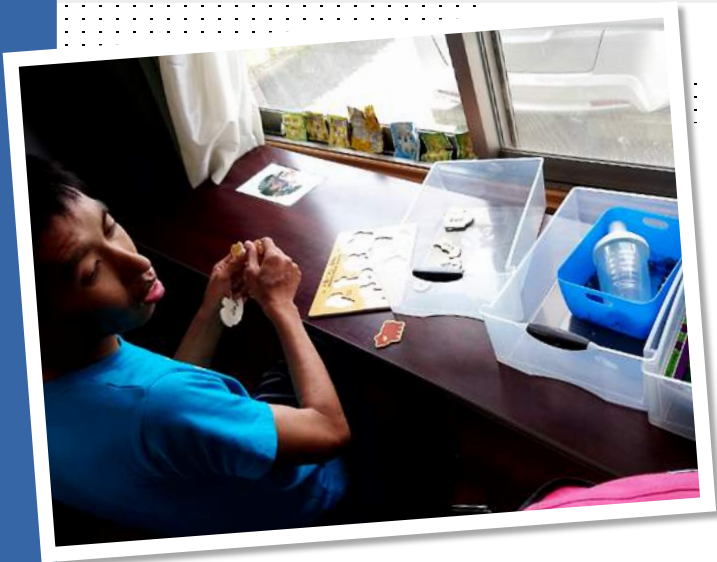


毎日教材をがんばってます♪
笑顔いっぱいです☆☆

取り組み内容

Sさんは以前より活動に集中できず、離席して施設内を走り回ってしまうことが課題でした。そこで、午後の活動時にご本人が拒否なく楽しんで活動に取り組めるよう、ご本人の好きなパズルや得意な教材4種類を準備し、取り組んで頂きました。また毎日同じ物だと飽きてしまう傾向にある為、教材を毎回替え、活動に対して飽きがこないようにしたり、活動の見通しが立ちやすいように各教材を棚箱に1つずつ入れ、終わったら棚に戻して頂く習慣を身につけて頂きました。

開始当初は、用意した教材が気に入らず、活動の途中で離席され、教材を持ったまま走ってしまい、自分の席で最初から最後まで集中して取り組むまでに30分程かかっていました。しかし、工夫を重ねた事で徐々に教材に対するこだわりが減り、現在は声掛けを行ったり、教材の入っている棚を支援員がご本人の席の近くに準備したりするだけで、ご自分で席に行き、集中して取り組むことが出来ています。



取り組んだ後・・・ これからの目標

現在、活動に取り組む事に対してはスムーズになってきています。そのため、今後の目標としては、アイロンビーズ・色のマッチング等、取り組む教材の種類を新しく取り入れたり、現在取り組まれているパズルを1種から2種に増やしたり等、少しでも活動に触れる時間を持って頂きたいと考えています。

また、創作活動にも取り組んで頂きたいと考えています。日々、1つの作業をコツコツと取り組み、作品を作成していくことで、作品が完成した時の喜びを感じて頂きたいと思っています。



オレンジハウス Oさん

Oさんのご紹介

平成 24 年よりオレンジハウス（グループホーム）に入居され、他のご利用者様と楽しく過ごされています。明るい性格で、みなさんと話をするごと、読売ジャイアンツが大好きな方です！

いつも笑顔で元気いっぱい、
その場を明るくしてくれます！

取り組み内容

現在 O さんのお母様は近隣の病院に入院されています。今までは支援員と一緒に面会に行っていました。O さんが面会に行きたい時に引率が難しいことがあった為、お母様に会いたい時にいつでも面会に行くことができるように、一人でタクシーを利用して病院に行くことができるように練習を始めました。面会に行く日は担当支援員と決め、オレンジハウスを出発する時間と病院を出発する時間をカレンダーに記入して確認しています。面会後は事前に予約していたタクシーに乗り、再びオレンジハウスまで帰って来て頂くのですが、自分で時計を見てタクシーに乗らなければならないので、オレンジハウスを出発する前に時間を何度も確認されています。

以前は一人でバスに乗車することができていましたが、最近は公共交通機関を使って外出をする機会がなかった為、最初は担当支援員と一緒にタクシーに乗車する練習を行いました。また、お金の管理も職員が行っていたため、お釣りの受け取りなどについても O さんと一緒に確認と練習を行いました。



取り組んだ後・・・ これからの目標

お母様に面会に行かれた際は、めいとくの里やオレンジハウスの出来事を話され、お母様も嬉しそうに聞いておられました。

今まで一人でタクシーに乗る機会が無かったため、タクシーに乗る際にレシートの受け取りを忘れていたり、タクシー運転手と話をして、タクシーから降りることができなかつたりと、課題はいくつかありますが、本人が望まれる際にお母様の面会に行くことが出来るように今後も支援を行っていき、お二人での時間を楽しんで頂きたいと思っています。

● そよかぜグループ Aさん

Aさんのご紹介

こんにちは。まいにちそよかぜグループで頑張っています。雑誌やマンガを読むことが大好きです。



笑顔がとても素敵で、ほっこりします。



取り組み内容

私たちが気分が悪い時や体調がすぐれない時は「気持ちが悪い」「頭が痛い」など自分の思いを相手に伝えて理解してもらおうとします。しかし、そよかぜグループで生活しているご利用者様の多くの方は言語でのコミュニケーションが難しい状況です。何かしらの訴えを行う際は支援員の手を引っ張ったり、身振り手振りのジェスチャーで思いを伝えようとします。また声を出したりしてそのご利用者様独特の表現で思いを伝えようとすることもあります。

私たち支援員は毎日接する中で、ご利用者様独自の表現をある程度理解することが出来ます。また理解してもらえることでご利用者様も安心して過ごすことが出来ると思います。しかし、社会、地域の中で暮らすということを考えると、その独自の表現では思いを伝えることが出来ずに生きづらく感じる事が多くなると思います。そこで A さんの自らの思いや意思を伝える手段として活動の取り組み後にベルを押して頂き、終わったことを支援員に伝えられるように支援しています。

取り組んだ後・・・ これからの目標

現在では取り組みが終わった際には、必ずベルを押して支援員に終わったことを伝えることが出来るようになりました。これまでは終わったことに気付かず、お礼や労いの言葉が掛けられないことがありましたが、終わりを伝えることが出来るようになった事で労いの言葉掛けを欠かさず出来るようになりました。

ベルを押すことで終わりを伝えることが出来るようになりましたが、A さんが私たちに伝えたいことはまだまだたくさんあると思います。これかれも A さんの思いを汲み取って、A さんが心地よく、安心して暮らすことができるように支援を行いたいと思います。



就労移行支援 Kさん

Kさんのご紹介

大学卒業後、就業生活に必要な知識やスキルを整えたいと思い、就労移行支援に通い始めました。特技は、折り紙です。県内のイベントなどで折り紙を教えています。休日は、街に出掛けたり、音楽を聞いたりして、のんびりして過ごすことが好きです。

いろんなことに気付いて、
気配りが素敵な方です！

取り組み内容

就労移行支援を利用開始当初は、緊張して不安なこともありました。半年ほど経つと、趣味の合う受講者の方も増えて、毎日楽しく過ごせるようになりました。セミナーでは、接客のロールプレイを行ったり、言葉使いについて学んだりすることで、就職への自信がつかってきました。

人と関わるサービス業への興味があり、保育園、スーパー、子供衣料店と3社の企業見学へ行きました。

企業研究のセミナーや一緒に見学をした受講者の方々の意見交換会などを行い、仕事のイメージを深めるだけでなく、一緒に就職を目指す皆さんとの関係を深められました。就労移行支援では、ビジネスマナーや仕事の模擬トレーニングを通して、実践的な経験を積むことができます。



取り組んだ後・・・ これからの目標

いよいよ職場実習に向けて、自己紹介シートを作成して、自分の得意なことを企業へPRできました。緊張しましたが、自分のことを企業に知ってもらえることができ、安心しました。

職場実習では、今までに学んだことの力試しを行っていきます。また、分からないことは、周りの方に質問したり、仕事内容をメモしたりして、スムーズに仕事ができるように頑張りたいと思います。そして、自分の得意なことを見つけて自信をつけていきたいです。将来、就職したら、自分で稼いだお金で、東京へライブを見に行くことが夢です。



● 就労継続支援B型 Tさん

Tさんご紹介

特別支援学校卒業後、社会を出たら、みんなと一緒に働きたい気持ちもあり、就労継続支援 B 型で働く生活を送られています。竹炭作業や農芸作業、プラスチック部品の組立などの仕事に取り組まれています。特にプラスチック部品の組立では目標を持って取り組まれており、目標達成したか、達成していない時にはどうすれば目標達成が出来るかを支援員に尋ねられ、向上心を持って取り組まれています。

皆と一緒に話したり遊んだりすることが大好きです。昼休みは皆とトランプをしたり、カフェで紅茶を飲んで楽しんでいます。



どんな仕事にも笑顔で
取り組みます！

取り組み内容

Tさんは竹炭作業では着床作業を担当しています。着床作業とは、窯で焼いた竹炭に微生物を浸み込ませる作業です。この作業を行う事で、取引先の企業で生ごみ等を混ぜられ、堆肥として使用することができます。Tさんは作業以外での役割として、事業所内のゴミ回収・ゴミ捨てを担当しています。ゴミを回収して1つの袋にまとめていますが、事業所内のゴミ箱はトイレ等も含め7個あり、まずはどのような順番でゴミを回収していくか、というところから始めました。ゴミ回収・ゴミ捨てに取り組んでいたスタッフがいたため、支援員とそのスタッフで回収の順番を確認したり、ゴミを1つの袋にまとめる方法などを練習し、火曜日と木曜日、ゴミ回収に取り組みました。

取り組んだ後・・・ これからの目標

最初は初めて取り組むことであったため、1つの手順が終わった後にどうすればよいのか不安に思い動きが止まったり、ゴミを1つの袋にまとめることに時間がかかっていました。今ではゴミを回収する順番やゴミ出しまでの流れを覚えたことから不安で動きが止まることはなく、ゴミを1つの袋にまとめることもスムーズに出来るようになっていました。自分から「ゴミ回収してきます」と言われており、自信を持って自分の役割に取り組まれています。ゴミ回収を行ってくれることで、皆さんが快適に生活・作業が出来ています。Tさんがやりたいことはまだまだたくさんありますので、一緒に取り組んでいきたいと思っています。



ありがとう!!

第13回めいとくフェスタ

今年のテーマ

舞

～踊って、陽気にnext stage～



フェスタ実行委員長 馬場

10月21日(土)第13回めいとくフェスタを開催し、お足元の悪い中にも関わらず、たくさんの方にご来場いただき誠にありがとうございました。今年のテーマはめいとくフェスタの恒例イベント「ディスコ」をイメージし、“舞”をテーマに楽しい時間が提供できればとFUNK FUN DANCE COMPANY様によるダンス披露やスイートポテトの振る舞い、じゃんけん大会などの企画を致しました。また、藤家様、北部幼稚園様、おひさまクラブ様、森先生による3B体操などイベントを盛り上げて頂きました。

毎年楽しみにご来場いただけることを嬉しく思い、実行委員一同深く感謝申し上げます。

近隣の皆様のご理解・ご協力と様々な関係機関の皆様にご支援をいただき、無事に開催できたことをお礼申し上げます。



北部幼稚園様



模擬店販売



スイッチじゃんけん大会



FUNK FUN DANCE COMPANY. 様

第13回めいとくフェスタのお礼

今回のめいとくフェスタは、第1回から数えて初めて終日室内での開催となりました。そのため、ご来場いただきました皆様には窮屈な思いをされた方もいらしたのではないのでしょうか。嬉しいことに、室内の方が快適でよかったと言う声もございました。これからも、晴れでも雨でも楽しいフェスタが出来るようにしていきたいと思えます。

御足元の悪い中足を運んでいただきましたご来賓の方々、出演者・出展者の皆様、運営を支えていただきましたボランティアの皆様、そして地域の方々や多くのお客様には、心より感謝致しますとともに、第13回めいとくフェスタが盛大のうちに開催されましたことに重ねて御礼申し上げます。

理事長 樺嶋潤一郎





障がい者支援施設

チャレンジめいとくの里

生活介護 施設入所支援
短期入所 日中一時支援

〒861-5503 熊本県熊本市北区明徳町 707-1
Tel. 096-215-9101 Fax.096-245-2344
c.meitoku@meitokukai.jp

ゆめくらしワークス事業部

就労移行支援 生活訓練 就労継続支援 B 型

Tel. 096-215-9103 Fax.096-273-6343
meitokunosato-works@meitokukai.jp



障がい者グループホーム

ゆめくらし事業所 orangehouse

共同生活援助

〒861-5503 熊本市北区明徳町 948-1
Tel. 096-223-5161 Fax.096-245-5951
yumekurashi-orange@live.jp



地域生活支援センター チャレンジ

相談支援事業

〒861-0132 熊本市北区植木町植木 163-1 植木ビル 1F
Tel. 096-227-6450 Fax.096-227-6451
meitoku-challenge@live.jp



障がい福祉サービス事業所

ケア・ハピネス

生活介護

〒861-5512 熊本市北区梶尾町 1379-3
Tel. 096-245-6611 Fax.096-245-3399
happiness@meitokukai.jp

明徳会公式サイト

<http://www.meitokukai.jp>



明徳会フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/meitokukai>



ゆめくらしワークスフェイスブックページ

<https://www.facebook.com/yumekurashiworks>



めいとく日和 (職員ブログ)

<http://ameblo.jp/meitokukai>

